

<補充提出資料> <16/1/30幹事会報告用顛末書>

「番匠峰古墳」改定作業の事前算定書

【経緯】

6月幹事会、9月幹事会で、前提ありきでの申請はダメ、担当理事決済枠20万円は時短で決済できるのから、具体的な事業の内容が明らかになった時点での申請ということで、日光はそのままだが、矢板は一旦却下、

とはいえ、番匠峰古墳の養鶏場より北西側の地図改訂がここ数年放置されている事態は判っていたので、なんとかしたいという思いから(地形もインカレ本番に類似している)別紙のような答申を関東学連に提出、9月の関東学連総会の議決で採択

8月の北東総会で、ミドルセレは関東に相乗りすることが決定

その後北信越のミドルセレも相乗りすることが決定し、三地区合同のミドルセレとなることが決定、500名超の参加者になることが確定的(その意味でもキャバのある会場が選出された)

一方、三地区合同セレとなりスタッフも各地区から、実行委員長は佐藤大樹に

また、別の動きとして、長年の夢だった「ヤマカワハウス」購入、始動。セレのスタッフ宿としても使用することになった。また例年より資材面で圧倒的有利な環境(勿論この面で大幅出費減)を得た。

ここまでお膳立てが整い、先日の11/22に第1回試走会開催、そこで大問題発生「番匠峰古墳」北東部の、ここ数年間の更新放置はかなりのっぴきならない事態になっていることが判明。元々3年前位に合宿したOLKからかなり変わっていることは聞いていたが、まともにフラッグが置けない(植生が全く変化、地形もしっかり来ない(山川補注:多分初版作成が古く、2次でプロが入っているとはいえ初版の実行委員調査を引きずっているのと、そもそもその頃も地形認識に対する洗練度が今とは格段に違うためだと思われる)状態)、試走不成立で退散フラッグも再調査のためにおきっぱに現状である。

実行委員長の見立ては、このままの地図利用ではセレ開催困難

対処法は徹底的に調査しなおすか、トレイン変更

しかし、すでにどの他のトレインも申請がきており(トレイン確保も競争状態、その意味で日本学連の新政策はうまく回っている)変更を強制するのも大きなエネルギーを要する急遽、実行委員長と地図業者で現地で対応策を練り、徹底的に該当区域を調査しなおすことで対応することにした。

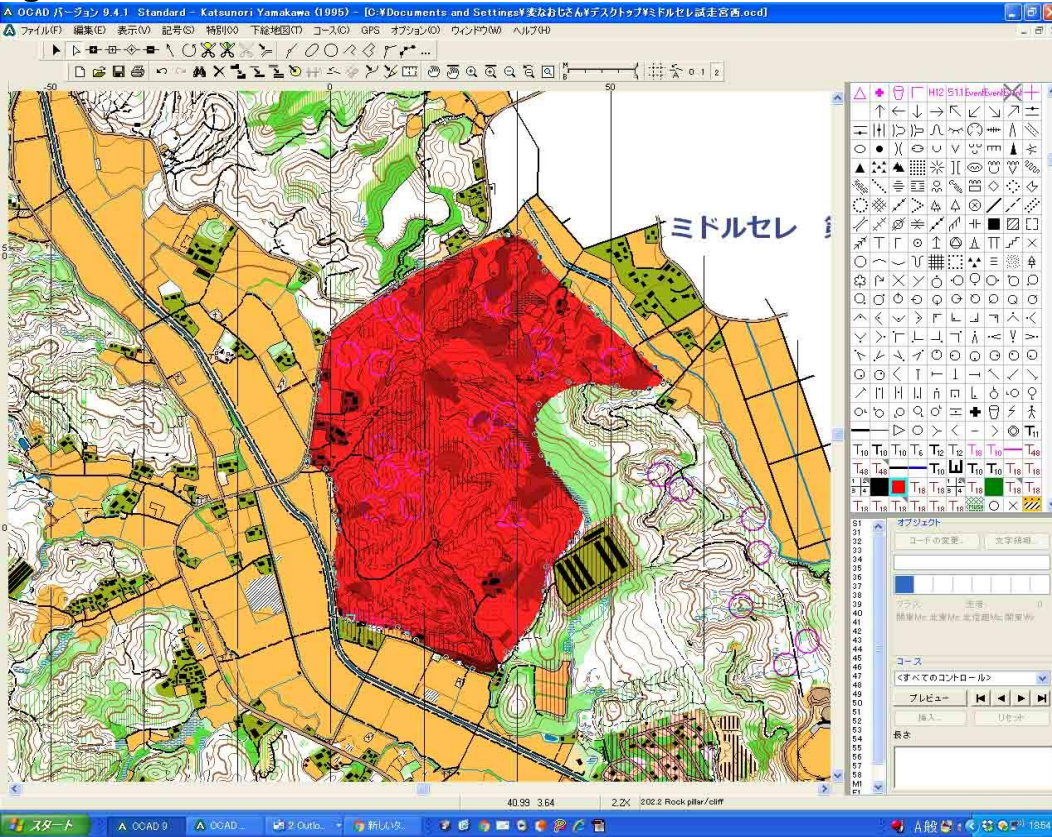
で、問題は費用。徹底的に調査しなおすとすると、到底20万の担当理事決済枠の中では収まらない。本来なら日本学連の財産として地図会計でしっかりと管轄し、利用者には定額の@350円で利用していただくというのが決まった形だが、今回これをやろうとするとことはセレだけに、会議場所が幹事会ということになると、セレの選手当事者である学生幹事にも競技にかかわるような重要な情報を展開して議論することになる。

そもそも時間的にも担当地図業者は今年すごく忙しく、これ以上幹事会に時間とエネルギーを今割くことは困難、また三地区合同セレということでしかも宿はヤマカワハウス、資材も多くが融通で、例年より出費大幅減が見込まれ、大黒字の予想、例外的ではあるが不足分をセレ会計で補充していただくという、例外的措置で解決を図りたい

・・・と山川と佐藤で相談し、これに担当理事の齋藤理事を引き込んで三者で決済したい。(決済一応関わる幹事長と会計には齋藤理事から必要部分のみ説明)

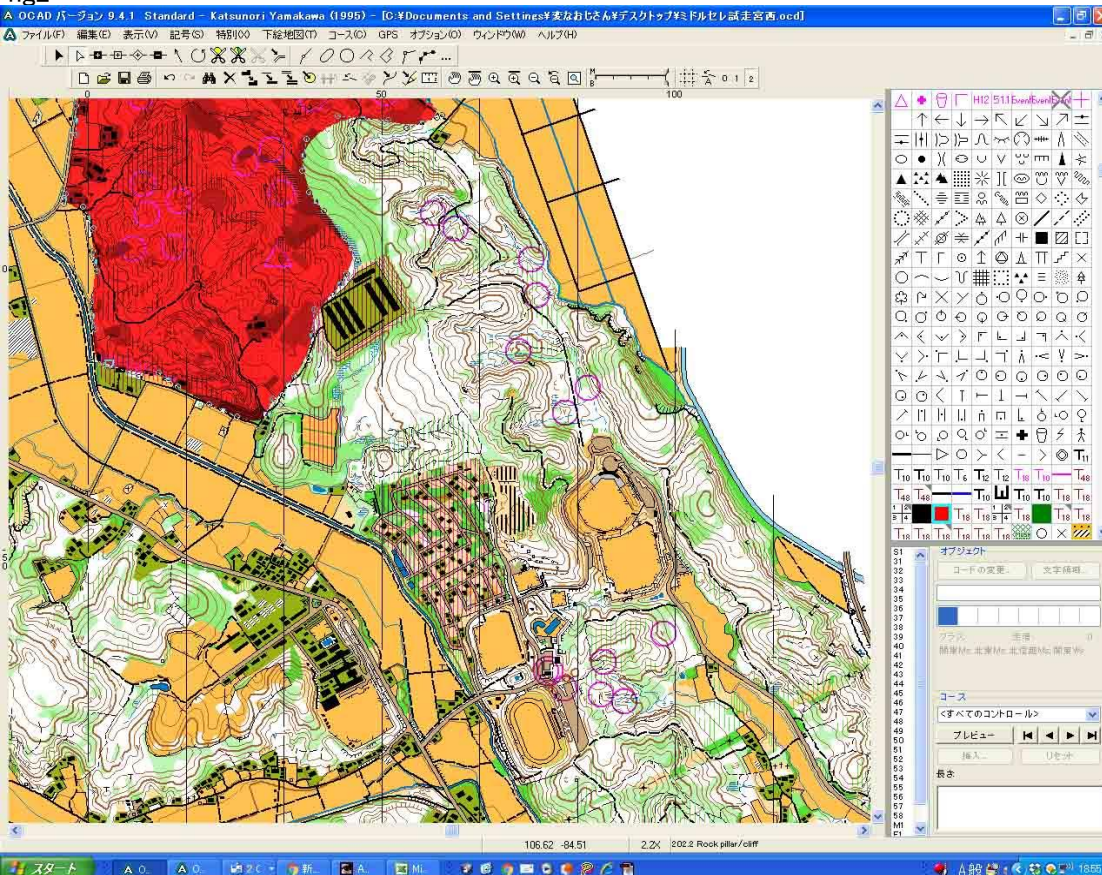
以下に図面で説明と見積もりをします。

fig1



この赤色範囲がここ数年の行事(山リハや合宿)から使用頻度がなく、更新がなされていない部分、多分6年以上放置していたと思う。山川自身もとんとこのエリアに入っていない責任は前から感じていた。なのでセレを誘致したが、そのひどさは佐藤くんから語っていただきます。尚、OCADでこのエリアの面積を測ると66ヘクタールです。

fig2



残りの区域は植生はかなり変化していると報告を受けていますが、上記期間でも山リハを2回開催しており、通常の更新作業2日分と見積ります。つまりここは@33333円×2日＝66666円前提で見積作業を続けます。

上の赤色範囲は、いわゆる最初からやり直す調査の価格を摘要します。前例として「日光所野」が5000円、世界選手権地図を原図とした「愛知インカレ」が3620円です。例外的に福井ロング(単価7000円にして、余分な経費(長すぎる稼働期間)支出を拒否した)とか希望が丘とかありますが、それは参考にしません。多分佐藤君の下見感覚では愛知インカレ以上の調査ストレスがかかることは確実です。なので以下のような見積計算をしてみます

	徹底調査部分	単価	小計	通常更新調査部分	合計見積
日光所野ベース	66	5000	330000	66666	396666
愛知インカレベース	66	3620	238920	66666	305586
その中間	66	4310	284460	66666	351126
単価4000円では	66	4000	264000	66666	330666
単価4500円では	66	4500	297000	66666	363666

セレ会計という独立した会計に例外的にお願いする以上は、その会計を赤字にすることはできませんので、実際の請求は状況次第ということになります(その前提で実行委員会とは約束します)まあ楽観的ですけど。もし、かけた費用に見合わないほど多額の事業だったとしてもそれは地図業者の負担ということになりますが、事後の地図売上の利益も指名されているわけですから十分飲めますし、毘沙門山の時の赤字程にはなりえないと考えています。まあ上記の額あたりで20万が地図会計の負担(齋藤理事決済)残りはセレ会計という次第です。多分”その中間”くらいの請求でおちつくと思います。

このテレインは、インカレロング400人時代という一番の底の時代を乗り切ったテレインでもあります。これを機にちゃんと日本学連の地図財産という位置づけをきちんと見直し、このテレインを長く愛せるように、今回のこの事業に短期間ではありますが集中して臨みたいと思います。

11月25日山川記 佐藤君のほうからも追加でコメントいただけたと思います。よろしくお願ひします。

以降齋藤理事とのやりとりから
第一義を、テレイン維持管理、第二義をセレの公正な開催という位置づけにして20万枠の予算を適用
但し今回はそれでは足りない、参加費の値上げ等色々議論したが、今回の合同セレは十分に余裕があり、第一義で予算執行する20万を超えない範囲で第二義として、セレ実行委員会会計から特例として、予算を執行していただくことで了承いただく

結果

セレの他の支出項目の様子判るまで待つて、請求を行った。それでも十分残るということだったので、上記の一番高い単価設定である(366666-200000=¥163,666を支払っていただいた)

今後展望

まだまだ地図担当理事の齋藤理事とは、意見をすりあわせていかなきゃいけないが(これから透明性について実績を積み上げていくという認識)日光・矢板のテレインは日本学連の重要な財産という立場で考えれば、今後はこのような緊急措置は避けたい。もっと事前に改訂の必要性を知るべきだし、そういう構造にすべきでもって20万の範囲で収まればスピード処理できるようになった、担当理事案件で答申すればよいのだし、それ以上かかる仕事であれば幹事会に諮るべき(幹事会が開催できないタイミングの時はメールベースで諮ってもらうことも可能)

こんなところが報告事項です。正直3週間前時点では私も実行委員のスタッフもどうなるんだろうという思いでしたが、なんとか該当区域の全面的調査見直して持ち直しました。

尚、日本学連の地図財産云々については、別の立場から幹事会にて
発言・提言をしたいと思います。
幹事会でどの切り口で議論するかは、笠松のコメダで事前に打ち合わせしておきましょう
(山川もそれほど文章を書いている時間がないので、話で済むこと＝書記が議事録で書いてもら
えること＝はそうしたい)